

はだの 農業委員会だより

第119号
平成26年3月発行

編集・発行
秦野市農業委員会
〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
TEL 0463-82-9654
E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp



荒廃農地解消作業を実施

2月22日(土) 秦野市農業委員会は、荒廃農地解消市民ボランティアの協力を得て、荒廃化した農地の解消作業を行いました。作業には30名が参加し、荒廃農地が生まれ変わるよう汗を流していました。

解消後、この農地は市内で営農する農家へ貸付けされる予定です。



おもな内容

■ 平成25年度神奈川県農業委員大会 他 ---	2	■ 農家の声 -----	6
■ 支援センター通信 -----	3	■ 相談コーナー 他 -----	7
■ 特集 荒廃遊休農地解消事業 -----	4	■ カメラスケッチ 他 -----	8
■ 農業委員紹介 -----	5		

平成25年度 神奈川県農業委員会大会



女性農業委員が登壇した様子

秦野市の農業委員を含む約750人が出席しました。

大会では、「本県農業の振興に係る緊急課題に関する要望」、「農地の保全と有効利用対策に関する要望」など4議案を決議しました。また、情勢報告では「かながわ女性農業委員の会」の会員が登壇し、女性農業委員の登用について理解と協力を呼びかけました。

はだの市民農業塾閉講式 3コース36名が修了

2月1日、秦野市農協本所で「平成25年度はだの市民農業塾閉講式」が行われ、基礎セミナーコース、農産加工起業セミナーコース、新規就農コースの36名が修了しました。

閉講式では、修了生を代表して新規就農コースの古家さんが決意表明を行い、「農業塾で培った経験を生かし、今後の営農に励んでいきたい」と話しました。



和田穂会長からエールが送られた

女性農業者と交流会

農産加工を通じて
女性農業者の力を

1月30日、さがみ農協綾瀬地区加工部会（古塩幸子会長）と秦野市農業委員会の女性農業委員との交流会が秦野市農協本所で行われ、綾瀬市内で農産物加工を行っている女性農業者ら30名が参加しました。

交流会では、農業委員会活動の紹介のほか、秦野市の地域ブランド事業で開発した「秦野ドーナツ」が紹介され、久保寺則子委員が加工した夏みかんのピールや落花生のお菓子などの加工食品を試食しました。



交流会終了後にはじばさんずを見学

ご協力ありがとうございました

954,500円

賛助会員費募金額

1,909 農家の皆様にご賛同いただきました。県農業会議では、この貴重な財源を次の事業などに活用します。

- ★ 県農林業施策と予算についての建議
- ★ 税制対策と経営改善支援
- ★ 都市農政対策の実施
- ★ 農業生産指導対策
- ★ 農政情報活動
- ★ 各生産組合の地域農政活動への助成



支援センター通信

荒廃農地解消実践活動

小学生と味噌づくり

2月9日に、荒廃農地解消市民ボランティア15人と地元の小学生11人が参加し、東公民館で味噌作りを行いました。

この味噌作りは、荒廃解消した農地で栽培した大豆を使用しており、「味噌づくり」体験を通じて、「荒廃農地解消活動を周知するだけでなく、子どもたちに、普段口にしていない物がどの様にできているか知ってもらう

らう活動です。

小学生たちは、講師の地元農家や荒廃農地解消市民ボランティアから真剣に話しを聞き、すり潰した大豆に米麴を混ぜ、空気が入らないよう丁寧に容器へ詰めていきました。

小学生は、「自分が作った味噌を使った味噌汁を食べてみたいですね」と話していました。



力いっぱい大豆と麴を混ぜる小学生

効果的な鳥獣害対策を

菖蒲地区

2月19日、菖蒲集落組合（矢口敏郎会長）は、平成18年度に設置した全長1700mの電気柵の点検作業を行いました。この点検作業は、毎年3月と8月に行っている柵の補修作業のために事前に行うもので、電圧の計測など、柵の状況を調査しました。

矢口会長は、「電気柵

を設置して、対策が終わる訳ではありません。日々の点検や草刈りを行い、電圧を下げない事が効果的な鳥獣害対策につながります」と話しました。

鳥獣害対策の問い合わせは、農協各支所または、都市農業支援センターまで

☎ 81-7800



点検作業を行う組合員

農の担い手へ 市民農業塾

3人が秦野で新規就農

秦野市が実施している「はだの市民農業塾」の新規就農コースを修了した3名が、4月から新たに農地を借り受け、新規就農します。新規就農コースは2年制となっており、1年目は座学と活動圃場での実習。2年目は、座学と一人10a程度の農地を担当し、実践的な研修を行ってきました。また、市内の専業農家で学び、技術や経験を肌で感じました。

これから、新たに農業者の仲間入りをしますので農家の皆さん、よろしくご指導お願いします。

新規就農コースの修了生紹介 応援よろしくお願いします。

講師：伊藤 隆弘

2年間の農業研修お疲れ様でした。高品質な野菜作りは、経験の積み重ねが大事です。根気強く、栽培技術の向上に挑戦されることを期待しています。



佐野 正幸 (64歳)

(就農予定地：西大竹地区)

安全・安心の野菜供給のために、適期の種まき、育苗、収穫を励行すると共に、適期、適量の農薬散布を行い、病虫害の防除を心がける。また、周囲の農業者と交流し、情報交換に努め、地域発展に寄与したい。

古家 九二雄 (71歳)

(就農予定地：西大竹地区)

就農にあたっては、「日本の農業に秦野あり」、「秦野の農業に古家が居る」、そのような特徴ある農業を目指したい。また、次世代を担う子供達へ、食生活のベースとなる農業の楽しさと大切さを身を持って教え、体験させたい。

篠木 昌仁 (61歳)

(就農予定地：西田原地区)

新鮮でおいしい野菜を多くの人に食べて頂きたい。そのために必要な栽培技術や知識を継続的に習得していきたいと思います。

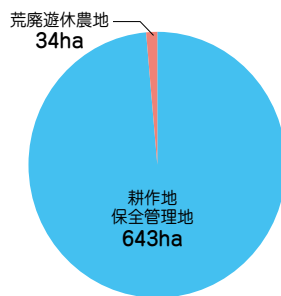
荒廃農地を緑の農地に!! 荒廃遊休農地解消事業



平成13年度に農業委員会の「荒廃、遊休農地の解消と農地流動化の促進」事業としてスタートし、市内で約12haの荒廃農地を解消してきました。農業委員会が中心となったこの事業は、市民ボランティアの協力を得て行っています。

平成21年には、農業委員会や農業者だけでなく、市民ボランティアが参加した荒廃農地の解消活動が評価され、第1回耕作放棄地発生防止・解消活動で全国農業会議所会長賞を受賞しました。

荒廃遊休農地の現状



※調査範囲は、主に農振農用地677ha。(平成25年度農地利用状況調査より)

荒廃農地を解消し、農地の流動化を図る

平成13年度から農業委員会が主体となり、農家の有する多面的機能を維持していくため、市民ボランティアの協力により解消活動を実践してきました。解消後、その農地は専業農家、新規就農者、さわやか農園など、農地として活用されています。

この事業では過去5年間で、5.4haを解消しています。このように解消作業を行う農地は、解消後の利用が決まっている農地です。

実践活動の実施

解消した農地で次の利用者が営農するまでの間、市民ボランティアが中心となり、作物を栽培し、農地を再生させ、次の利用者がよい状態で営農できるように実践活動を行っています。

活動には、地元の小学生も参加し、大豆の播種から味噌作りまでを行い、農業体験と荒廃農地解消活動のPRも行っています。



◎あの農地は今…

平成24年度に解消した八沢地区の10aの農地は、写真(上)のように雑草が繁殖しており、解消作業が行われました。解消した農地は、本来の畑の姿に戻りました。



◎農家のQ&A

Q 長年農家をしてきましたが、年をとり、後継者もおらず今は農地の管理だけをしている状態です。このままだと管理できなくなる日もそう遠くはありませぬ。これからどうすればいいでしょうか。

A 農地は、所有者が管理していかなくてはなりません。農地法では、毎年農地の現況調査が規定されており、荒廃地、遊休地を発見した場合は指導する事になります。自分で管理できない場合は、農業者へ貸付けを行うことが考えられます。

農地を貸したい…意向がある方は

◎看板制度の実施
秦野市農業委員会では、4月より農地の看板制度をスタートします。

事業の目的

農地を遊休化させると、周辺農地の営農に支障をきたすだけでなく、一度荒廃してしまうと復旧させるのに多大な労力と投資がかかります。

貸出意向のある農地に看板を設置し、農地の貸し借りを促進します。



※イメージ

写真のように、農地に貸出の看板を設置することで、借りることが可能か一目でわかるようになります。

手続きは簡単

所有者は貸出申し込み書を農業委員会へ提出して下さい。その後、申請者に看板を交付します。貸し借りは利用権設定により行います。(借りることができないのは農家のみ)

※農地の利用、看板制度についての相談は農業委員会事務局まで

☎ 82-9654



農業委員紹介コーナー



桐生 一義 (西地区)

風間 正子 (議会)

草山 光右 (南地区)

清水 富美子 (議会推薦)

古谷 茂男 (農協)



● 担当生産組合

森戸、黒木、欠畑、波多川、沼代

● 12月13日生まれ

いて座

● 趣味

ギター

● 主な作物

イチゴ

☆ポイント

秦野のような盆地の農業には厳しい側面もある。

盆地サミットを開催したらよか！

● 趣味

音楽鑑賞、スポーツ、ウォーキング

● 11月13日生まれ

さそり座

☆ポイント

農業を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。しかし、女性農業委員が増えてきたことは大変喜ばしい事です。

安心・安全な農産物を作っていく上でも農業委員としての役割は大きいと思います。私も農業委員として、一役を担えるよう努力していきたいと思えます。

● 担当生産組合

三協町、宮町、北町、南町、小原町

● 3月6日生まれ

うお座

● 趣味

ゴルフ、ウォーキング

● 主な作物

花き

☆ポイント

農業を取り巻く環境が高齢化や人口減少等により、激変する兆しの中、農業委員として、微力ではありますが、農業に関わっていきます。

● 3月31日生まれ

おひつじ座

● 趣味

山行

● 主な作物

水稻、落花生、露地野菜

☆ポイント

農業を取り巻く問題はたくさんあります。その中でも、農業に従事する人を増やすには、農業者が生活し、子供を育て、教育できる農業所得の確保が最重要課題だと思えます。

そして、若い人たちに農業を担ってほしいと思っています。

● 1月15日生まれ

やぎ座

● 趣味

囲碁、将棋

● 主な作物

みかん、くり

☆ポイント

農地を農地として有効活用できるように、荒廃農地をなくすための努力、鳥獣被害対策等をしっかり行い、農業・農家が元気になるよう努める。



農家の声



夫につられて、
今では…

大津 和恵（東田原）



現在、ブルーベリー2反、栗などを4反、野菜や芋を5反、夫を手伝っています。数年前からじばさんずに出荷していますが、36年前に嫁いで来た時には夢にも想像しなかったことです。

もともと、夫の実家はたばこ農家で、昔はたば

この他にも米や落花生もたくさん作っていました。しかし、私が嫁いだ頃にはすでに辞めていて、母が家族のために色々な野菜を少しずつ作っている程度でした。

夫は、会社勤めの傍ら広い農地を草刈りなどして管理していましたが、定年を間近にして農地を管理するために草刈りばかりするのはつまらないと、突然ブルーベリー園を始めることを決めたのです。今から8年前のことです。実は、私は猛烈に反対しました。しかし、私の反対にめげることなく、いえ、反対があったから尚更、幾つもの試練を乗り越えて頑張れたと、後で夫が話しておりました。

一番大変だったのは、

夫が一人で防鳥ネットの支柱を立てた翌日に強風で全て倒れてしまった時でした。流石にがつくりきたそうです。しかし、どこが弱かったのか計算しなおして、2週間後にはもつと丈夫な支柱を一人で完成させました。そんな頑張る姿に、私は少しづつ、尊敬の気持ちを感じるようになりました。私は主に収穫を手伝うようになり、ブルーベリーの最盛期には毎日6時間ほど摘んでいます。あんなに反対していたのに、不思議とそれが苦になりません。きつと、たわわに実っている紫色のつややかな粒に癒されているのかもしれない。

今ではブルーベリー以外にも栗や柿、芋類や野菜など作業が増えて大変ですが、その分、収穫の喜びも大きいです。夫に感謝しつつ、これからも夫を手伝って、おいしい農作物を沢山作っていききたいと思えます。

農業者の金の卵を育てよう

今井 新一（室町）



られ、農家（農業）にとつては非常に厳しくなり、農業だけでは生計が成り立たなくなったり、農政の変化に惑わされ、農家の離農や耕作放棄地が多くなってきています。数年後には、農業者人口も全国民の5%まで（65歳以上）に減少し、農作物の栽培も減る一方になってしまっているのではないかと思います。

このような中、早くこれから先の農業従事者を育てなくてはならない。それこそ農業後継者、担い手、新規就農者などの金の卵を育てることが必要です。

だいぶ古い話になりますが、昭和30年代後半から、日本の商工業は高度経済成長と言われました。それに伴い工業製品の維持のため、全国各地から中学、高校卒（金の卵）の若い人材が労働力となり、集団就職などで人員を確保し製造増大がなされ、いつのまにか世界でも屈指の工業国になったわけです。しかし、工業製品の輸出の拡充のために、農産物の輸入が強い

何十年後には、世界の人口の増加、異常気象等により、水や食料が不足し、武器を持たない食料戦争へ発展するなどとまことしやかに言われている中で、日本も他国に頼らず、国内農産物の生産でまかなえるようにしなければならぬと思っています。





Q 農地を売りたいと考えています。売買するにあたり適正な価格を知りたいのですが、標準価格はあるのでしょうか？

A 農地の価格については、それぞれの農地価格が示されているものはありません。また、標準価格も定められていません。

農地は、その農地によって生産力があるかどうか、道路付けはあるか、日照条件はどうかなど、様々な要素があるため標準的な価格を示すのは難しいと考えられます。現状を確認し判断する必要があります。その農地の所在する地域の農業委員、農協、不動産業者等で相場を聞くことが参考になるかもしれません。

なお、以前から耕作していた賃借人がある農地を売却しようとする場合、賃借

権が設定されている場合があります。そのような場合、離作料が発生する事もあります。

離作料とは、借りている農地を返還するにあたり賃借人から賃借人へ支払われるものです。離作料は、農地法などの法律で定められているものではありませんが、地域によっては慣行で支払われている場合があります。

農地のご相談は農業委員会まで問い合わせください。

選挙人名簿登載者数

「秦野市農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の集計結果をお知らせします。この登録者は3月31日に確定し、次年度まで据え置かれます。



(1月31日現在)

地区名	世帯数(戸)	男(人)	女(人)	計(人)
本町	94	120	106	226
南	162	203	154	357
東	243	252	214	466
北	202	239	223	462
大根	188	216	203	419
西	254	311	252	563
上	119	133	109	242
合計	1,262	1,474	1,261	2,735

農地の賃借料情報

平成25年1月から12月までに利用権設定された農地の賃借における平均的な賃料(10aあたり)は以下のとおりです。



区分	平均額	最高額	最低額	データ数
田	9,940円	10,550円	9,170円	5
畑	11,900円	52,360円	5,630円	62

※農地の区分、平均額、最高額、最低額、データ数を賃借情報として提供します。(農業用施設農地は除く)
 ※データ数は、集計に用いた筆数です。

- 総会
11月25日、12月25日、1月27日、2月25日
- 運営委員会
1月15日、2月13日
- 編集委員会
1月27日、2月25日
- 神奈川県農業委員大会
11月13日海老名市文化会館

農業委員会活動報告
 (平成25年11月～平成26年2月)

総会の主な審議案件と件数(11月～2月)

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸(3条許可)	8	7,007.37㎡
市街化調整区域内の転用(4・5条許可)	7	9,603.77㎡
市街化区域内の転用(4・5条届出)	88	37,560.05㎡
相続税納税猶予	3	27,508.73㎡

平成25年度 農地利用状況調査結果

平成25年11月から12月にかけて農業委員が秦野市の農振農用地を中心に1筆ずつ、農地の利用状況を調査しました。

調査農地	調査結果			所有者
	良好	荒廃遊休		
筆数	8,591	8,161	430	207
面積(ha)	677	643(94%)	34(6%)	



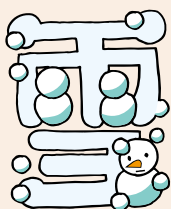
除雪に協力!! 畜産農家が活躍



2月に2度降った大雪は、秦野市にも多くの被害をもたらしました。

なかなか溶けない雪を畜産農家が除雪しました。

横野地区の井上さんは2日間で計3時間から4時間除雪に時間を費やしました。雪は、軽トラックが埋まるまで降り、「自分の牛舎の雪かきをしてから、道路の除雪作業をしなくてはならないのが大変だった」と話しました。



八沢地区の三觜さんも、牛舎から国道までの道路を率先して除雪しました。

上地区では多い場所で30cm弱の積雪があったといいます。

畜産農家が除雪作業で活躍し、道路の復旧作業に貢献しました。

節税効果が大きい **農業者年金** で 実質所得のアップと老後の安心を!

農業者年金は、加入者数・受給者数に影響されにくい**個人ごとの積立方式（確定拠出型）の公的年金**です。貯蓄の感覚で加入し税制メリットを受け**実質所得の向上**を図りましょう!

- **支払う掛金は、全額社会保険料控除の対象**（最高で年額804,000円）となります。
- **所得税・住民税が節税**になります。これにより掛金の15%~30%程度の節税効果があります。(ご自身の年金でなくても大丈夫)
- **将来受け取る年金も、公的年金等控除が適用**されます。

次の要件を全て満たす方ならどなたでも加入できます。

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者

■ 問い合わせ

農業委員会事務局 ☎ 82-9654
JAはだの営農課 ☎ 81-7718

全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

- 毎週金曜日発行
- 購読料 月600円
- お申し込みは、地元の農業委員または、農業委員会 ☎ 82-9654

編集後記



水無川上流に咲いた菜の花

地球温暖化の進行度を示す、代表的な指標である大気中のCO₂濃度は、産業革命（18世紀半ば）以前は280PPMだったものが、初めて400PPMを超えたと気象庁が発表された。

原因は主として、人間による化石燃料の燃焼による排出及び、森林伐採である。農業も無駄を省き、省エネルギー化を考える時期ではないだろうか。

（編集委員 伊藤伸一）